

○三沢海岸再生記念植樹を開催

6月10日（火）、三沢市浜通り国有林155林班において、（一財）三沢市公園緑化公社「緑の募金」活動委員会の共催、三沢市及び三沢市教育委員会の後援を得て三沢市立三沢小学校第4学年生徒約58名を迎え、クロマツポット苗木500本を植樹しました。

この植樹は、東日本大震災の影響により三沢海岸の防風林も甚大な被害を受けたことから、1日も早い防風林の再生を目指し、地域の皆様が安心・安全な生活を取り戻すことを目的に平成24年度に実施し、今回が2回目の開催となりました。

開会に先立ち、東日本大震災により亡くなられた方々のご冥福を祈り黙禱を捧げた後、開会式で、主催者代表として三八上北森林管理署長より「過去の津波から育てたあげた防災林が、23年の地震津波によりまた被害を受けてしまいました。おじさんたちはこの先人が努力により育てたこの松林を復旧したいと思い植えています。今日は、おじさんたちのお手伝いをお願いします。」と挨拶し、共催者、後援者を紹介し当署総括森林整備官の植樹指導及び注意事項の説明の後、生徒と参加者全員でクロマツポット苗木の植え付けを開始しました。

子供達は、「早く大きくなれ！」と思いを込めながら、前日の雨で埋まってしまった植え穴を掘りながらと1本1本丁寧に植えていました。

式典の最後には、植栽者「三沢市立三沢小学校4年生一同」と裏書きされた「三沢海岸再生記念植樹」の記念標柱を生徒みんなで埋設を行い植樹を終了しました。

連日雨模様の空も植樹時は、子供達にエールを贈るかのように我慢してくれて、海風も心地よく吹く天候の中で植樹が行われました。終了後はまた雨も降り出し思い出に残る1日になったのではないのでしょうか。



参加者全員で黙禱



佐藤署長挨拶



植樹の様子



記念標柱建立